

第1章 施設の概要

1. 業務の概況

本研究所復興以来2年有半を経過して器具器械等の物的設備も漸く整備の域に近づき、またこれに従事する職員も逐次定員を充足して着々陣容を整えているが本道は府県と異なり地域廣大であつて保健所の數も道立39箇所、市立3箇所の多數に上り且つこれ等の内部設備も略整つてゐるから細菌その他普通の検査は自ら実施し得る仕組になつてゐる。従つて衛研自體で行う検査は札幌市内所在の病院及び近在の診療所その他委託に依るもののが大半を占めている状況であつて自然その取扱件数は比較的少いのが實情である。併しながら朝傳染病多發の事態發生し或は各種の防疫対策實施に當つてはこれ等の保健所では到底手廻り兼ねるのでその場合は當研究所より職員を派遣し或は可検物を取寄せてその業務を援助する等勉めて機動的活動にて意を用い又検査技術の向上に資するため衛生部各課と連絡して隨時講習會を開催し或は未經驗者の技術養成に努める等銳意その機能の發揮に努めているが時代の進歩に伴つて所期の業績を擧げるためには更に一層人、物両面の設備の強化充實を必要とする譯である。

(1) 試験検査及び生産

既述の通り日常業務の大半は特種のものを除く外は札幌市及びその附近に於ける行政上必要な各種の試験検査であつて開業醫その他民間等よりの委託に依るものも少くないが亦病菌の菌型検査その他の不明病原體の検査等の如きは保健所及び病院等の依頼に依つて殆んど一手にこれを引き受けている状態である。

なお26年度中に於て傳染病の多發若しくは防疫対策實施に際し保健所の業務援助のため職員を派遣すること21回23人に及びこの延日數162日の多きを數えている。

(2) 技術者の指導養成及び所員の研修

保健所等に於ける試験検査業務の向上に資するため道廳關係課と協力して26年12月3日より11日に至る9日間當研究所にて細菌検査技術講習會を開催し保健所及び治療院等の道立の機關に勤務する職員及び保健所の推薦に係る公私立病院勤務者合計46名に對し再教育を施したがうち所定の科目を修了した道の職員40名に對しては修了證書をまた公私病院勤務者等部外の技術者4名に對しては聽講證書を授與した。

この外衛生部或は民間團體等の委託に依り技術者の養成若しくは再教育の目的を以て主として細菌検査血清検査及び化學検査技術の指導を行つてゐるが26年度中に於いては既に實習修了者6名を出し現に實習に從事中の者1名であるがこれ等の實習期間は長きは80日短かきは1週間である。

その他厚生省に於いて実施の7月中旬より9月下旬に涉り公衆衛生院に於いて開催の公衆衛生技術再訓練第3回化學検査講習會には1名、11月中旬宮城縣鳴子町に於いて開催の温泉法及び温泉中分析法指導講習會には2名12月中旬東京に於いて開催された細菌検査短期講習會には1名の所員を出席させて技術の進歩資質の向上に努めている。

(3) 調査研究

術研はその性格からして主として行政上必要なる各種の試験検査及び調査研究に重點を置く建前になつてゐるから行政の対象たるべき實社會の生活と遊離した問題にまで手を伸ばして本然の使命を粗略にするような事は固より慎しまなければならぬが併しながら行政上必要な試験検査の結果更に一層高度の難問解明のため一見行政上直接關係のないような事にも手を染めさせることは所員の研究心を高め延いては學界に寄與貢献する結果ともなるので業務に支障のない限り勉めてこれを助長獎勵する方針を執つてゐるが既刊第2集に掲載發表した「ボツリスムスの疑い濃き食中毒例について」の研究の如きもその所産の一に數うべきものといえる。なお前2回發行の所報に發表以後の調査研究で今日までに纏つた所員の業績は第3章に掲げた通りである。

2. 豊 算

26年度の當初豫算は所謂骨格豫算であつて前年度のそれに比し著しく減額されていたが8月26日道議會に於いて次の通り追加の議決を見たので歳出總額は10,621,600圓となりこれが26年度の最終豫算額となつた。

なお歳入豫算は當初議決のままで別段變更がない。

歳 出 豫 算

| 科 目 | 當初豫算額 | 追加豫算額 | 計 | 科 目 | 當初豫算額 | 追加豫算額 | 計 |
|-----------|-----------|---------|-----------|-----------------|-----------|-----------|------------|
| 旅 費 | 577,900 | 0 | 577,900 | 通信運搬費 | 139,000 | 0 | 139,000 |
| 雜 手 當 | 240,000 | 0 | 240,000 | 廣 告 料 | 50,000 | 0 | 50,000 |
| 賃 金 | 37,800 | 0 | 37,800 | 工事請負費 | 0 | 770,000 | 770,000 |
| 消 耗 品 費 | 2,887,700 | 0 | 2,887,700 | 修 築 料 | 500,000 | 0 | 500,000 |
| 燃 料 費 | 441,900 | 0 | 441,900 | 備 品 費 | 1,800,000 | 1,222,500 | 3,022,500 |
| 食 糧 費 | 100,000 | 0 | 100,000 | 原 材 料 費 | 340,000 | 0 | 340,000 |
| 印 刷 製 本 費 | 700,000 | 225,000 | 925,000 | 施 設 費 | 12,000 | 125,000 | 137,000 |
| 借 料 及 損 料 | 0 | 4,800 | 4,800 | 負擔金補助及 交 付 金 | 4,000 | 0 | 4,000 |
| 光 烈 水 費 | 444,000 | 0 | 444,000 | 合 計 | 8,274,300 | 2,347,300 | 10,621,600 |